



福島小学校だより

ふくしま

ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

No. 8

令和8年9月29日



本気の姿はカッコいい

校長 嶋田 暢也

10月17日(土)は、福島小学校秋季運動会です。運動会に向けて各学年は一生懸命に練習を頑張っています。今年の9月は暑さが和らぎ過ごしやすい気候で本当に有難いです。それでも油断はしないで、子どもたちの健康観察を十分に行い、水分補給の徹底など子どもたちの健康を第一に考えながら練習をしています。

さて、先日、9月25日(金)に、第1回の全体練習がありました。担任の先生と学級のみんなが一体になって行進するなどの練習をしている姿を見て、昨年に引き続き私は感動しました。子どもたちは真剣に練習している、担任の先生は丁寧に熱心に指導している。

その一体感は私の胸を熱くしました。改めて福島小学校に来ることができて本当に幸せだと感じました。

1年生は小学校はじめて、ドキドキの運動会、2年生はちょっとお兄さんお姉さんになって1年生に教える立場になります。1・2年合同の練習では、1年生はとてもかわいく、2年生は声を出して雰囲気盛り上げてダンスの練習をしていました。

3年生はみんなでバトンをつなぐはじめてのリレーに挑戦、4年生は中学年のダンスや難しい団体競技をリードしていく立場です。5年生は、高学年らしいダンスに精一杯取り組むことはもちろん、委員会の仕事で6年生を支える運動会、6年生は小学校最後の運動会、自分ががんばるのはもちろん、最高学年として下学年を引っ張り、運動会を盛り上げ成功に導けるよう力を合わせてがんばっています。子どもたちが本気になって頑張る姿は本当にかっこいいです。大好きな皆さんが精一杯頑張る、精一杯応援し、思いっきり楽しむ姿を見るのを楽しみにしています。私たち教職員も運動会を「子どもたちが、がんばったな、よかったなと思える、楽しく思い出に残るものにしたい」と、一致団結して取り組んでいます。

今年度も8時30分スタートです。ご家族の皆様、地域の皆様にはぜひ子どもたちのがんばっている姿をご観覧いただきたく、よろしく願いいたします。



10月の学校行事予定です。

1 (木) 万引き防止教室 (6年)	12 (月) スポーツの日	27 (火) 避難訓練 (火災)
2 (金) ALT	13 (火) 委員会	28 (水) 研究授業 (3年)
5 (月) 委員会	14 (水) 4年県学習到達度調査	3年1組以外 13:20 頃下校
6 (火) ALT	15 (木) 5年県学習到達度調査	3年1組 14:35 頃下校
7 (水) 和歌山市教育委員会訪問	17 (土) 運動会 (18 (日) 予備日)	30 (金) スクールカウンセラー来校
4年1組以外 13:20 頃下校	18 (日) 九頭神社秋祭	31 (土) 土曜参観 秋フェス
4年1組 14:35 頃下校	20 (火) 21 (水) 加太合宿 (5年)	
8 (木) 福祉体験 (4年)	22 (木) 喫煙防止教室 (3年・5年)	
9 (金) スクールカウンセラー来校	23 (金) 運動会振替休業日	

11月以降の学校行事

11月

2 (月) 土曜参観振替休業日
 10 (金) 遠足 (1・2・3・4・年)
 19 (木) ALT
 20 (金) スクールカウンセラー来校
 26 (木) 緑育体験 (5年)

12月

11 (金) スクールカウンセラー来校
 15 (火) 16 (水) 修学旅行 (6年)
 18 (金) スクールカウンセラー来校
 23 (水) ALT
 24 (木) 2学期終業式

1月

6 (水) 3学期始業式
 15 (金) スクールカウンセラー来校
 29 (金) スクールカウンセラー来校

2月

12 (金) スクールカウンセラー来校
 25 (木) 6年生を送る会
 26 (金) スクールカウンセラー来校

3月

12 (金) スクールカウンセラー来校
 17 (水) お別れ式、卒業証書授与式
 24 (水) 3学期終業式
 31 (水) 離任式

※ コラム「平等」な子育てと「公平」な子育て → その子にぴったりの愛情を注いであげる。

突然ですが、皆様は「平等 (びようどう)」と「公平 (こうへい)」の違いについて考えたことはありますか。どちらも似た言葉ですが、子育てにおいては、この2つの違いを知ることが、子どもたちの心を健やかに育てる大きなヒントになります。

よく言われる例え話があります。背の高さが違う3人が、フェンス越しに野球の試合を観ようとしています。ここで、全員にまったく同じ高さの踏み台を1つずつ配るのが「平等」です。しかし、これでは元々背の低い子は、踏み台を使ってもフェンスの上に目の高さが出ず、試合が見えません。一方で、それぞれの身長に合わせて、背の低い子には2つ、真ん中の子には1つ、背の高い子には踏み台を配らない(踏み台がなくても見えるため)というように、必要な分だけ配るのが「公平」です。



これを家庭での子育てに置き換えてみると、どうでしょうか。例えば、兄弟がいるご家庭で「お兄ちゃんにこれを買ってあげたから、妹のあなたにも同じものを買うね」というのは「平等」な関わり方です。もちろん、これも大切な優しさです。しかし、お兄ちゃんは今「新しい本」を求めている、妹は今「お母さんに話を聞いてほしい」と思っているかもしれません。その時に、それぞれの「今、本当に必要としているもの (こと)」を見極めて、お兄ちゃんには本を、妹にはじっくり話を聞く時間をプレゼントする。これが「公平」な子育てです。子どもは一人ひとり、生まれ持った性格も、成長のスピードも、今つまづいている壁も違います。我が子にとって、今必要な「踏み台」は何だろうか？ おしゃべりをして安心することでしょうか。それとも、じっと見守ってもらうことでしょうか。

ぜひ、ご家庭でも目の前にいる「我が子」を見つめ、その子にぴったりの愛情を注いであげてください。学校でも「平等」と「公平」をその時と状況に合わせて大切にしていきます。